



## 情報モラル教室 “ネット・スマホとの適切な付き合い方” ～あなたの未来のために知っておくべきこと～

12月12日(木)、4～6年生児童を対象に、浜松学院大学・短期大学部学長の今井昌彦先生を講師にお招きして情報モラル教室を行いました。保護者の皆様にもぜひ知っていただきたい内容です。子供たちの感想を紹介しますので、概要を把握していただき、ご家庭での「情報モラル教育」の参考にしていただきたいと思ひます。

- スマホで、体力、視力、コミュニケーション力、睡眠時間、学力、脳機能を失うのはやばいと思ひました。
- スマホが近すぎると急性内斜視になってしまうかもしれないので、30cm以上離して使うようにします。
- 私はスマホを4時間以上使っていて、このくらしをしていると危ないことになるのを知りました。
- 平日でも3時間から4時間ゲームをしたりユーチューブを見たりしていました。今日からは減らそうと思ひました。
- スマホを買ってもらった日から画面にくぎ付けて、ながらスマホもしていて、けっこうやばいなと思ひました。
- スマホは学力や脳まで破壊されると聞いたときはこわかったです。
- モスキート音は15000ヘルツまで聞こえました。これ以上さがらないようにイヤホンやヘッドホンをつけることはやめようと思ひました。
- 難聴になってしまったら治らないと聞いて怖かったので、生活を見直そうと思ひました。
- ブルーライトが体内時計を狂わせて、ねむれなくなってしまうことが分かりました。
- 2時間勉強してもゲームとかを2時間やってしまったら意味がないそうなので、スマホを使う時間をへらせるようにがんばりたいです。
- 勉強するときはタブレットを別の部屋に置くようにする。
- 私は、動画を見ながら宿題をしていたりしたけどやめようと思ひました。
- このままスマホを使っていたら学力も低くなってしまふから、気を付けようと思ひました。
- 自分が思っている以上にスマートフォンは危険なんだと思ひました。携帯の時間をお母さんと話し合って決めたいと考えています。
- これからは自己管理能力を上げていきたいです。



※講演で使用された画像の多くが、二次的利用が禁止されているため、ここで紹介できないのが残念です。